

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	黄色いテントのとうもろこしで元気な集落になろう！
事業主体 (連絡先)	赤坂とうもろこし直売組合 代表 石原邦雄 0265-49-2336
事業区分	(6)イ農業の振興と農山村づくり (1)地域協働の推進
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	226,300円(うち支援金:220,000円)

事業内容

(1)ロコミPR事業  
 期間中は当番制で販売しました。生産者が商品に責任を持って販売していること知ってもらうため、リピーターになってもらうため、ロコミでPRしてもらうために、名刺を手渡しました。説明する内容も、正確にわかりやすくするために、パネルを使って表示しました。環境を考えてエコバッグ活動も試験しました。

(2)安全安心な販売事業  
 昨年販売していた品種と新しい3品種を栽培して、比較販売しました。本当に甘いとうもろこしだということを保証するために、糖度も測りました。とうもろこし色のテントは、自分たちのことを印象付けるための広告塔としました。



【黄色いテントの直売所】

自己評価(事業実施率)【B】

事業効果

①根羽村のとうもろこしのおいしさを、試食販売だけでなく、科学的な説明と測定したデータを使って分りやすく伝えました。おかげで、2日連続で買いに来ていただいたり、自宅から電話で追加注文を受けたり、リピーターをつくることができました。

②新しい品種の人気と売れ行きを目の当たりにし、高齢者にも栽培しようという元気が出てきました。

③説明内容をはっきりさせたので、当番による売上の違いが無くなり、気持ちよく働くことができました。

【目標・ねらい】

- 根羽村と高橋集落のPR
- 集落の農業生産と生活基盤を維持するための仕組みづくり
- 生産者と消費者の距離の短縮

自己評価(目標達成率)【B】

今後の取り組み

①試験栽培した新しい3品種について、売上を詳しく分析して、高橋集落全体の作付け計画に反映させたいと思います。

②展示用パネルと糖度計については、使い方をもう少し工夫して、来年はしっかり活用したいと思います。

③エコバッグについては、消費者の反応が良くなかったため、活動の見直しを行い、購入したものを活用方法を検討します。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。